

少林寺拳法



防衛大学校少林寺拳法部

平成10年度 部誌・OB会報 NO. 25

目 次

部

誌

- 1 部長挨拶 教授（応用化学） 菅野 等
- 2 学生寄稿
 - 4 3 期 主将 廣瀬 繁
 - 4 3 期 副将 荒栄 拓也
 - 4 4 期 主将 渡邊 俊明
 - 4 4 期 副将 伊藤 恒和
 - 4 5 期 澤水 隆一
 - 4 5 期 津森 聡
 - 4 6 期 高橋 牧子
 - 4 6 期 山本 剛嗣
- 3 平成10年度 活動成果報告
- 4 部長・師範・顧問及び44期幹部名簿
- 5 部員名簿
- 6 平成11年度年間計画

奥平会報

- 1 巻頭言 奥平会会長 鈴木 陽
- 2 平成10年度奥平会活動概要
 - (1) 現役部員に対する支援
 - (2) 総会の実施
 - (3) 平成10年度会計報告
 - (4) 連絡事項
 - (5) 奥平会名簿

ご あ い さ つ

部 長 菅野 等

台 掌

全図のOB諸兄におかれましては良い新年を迎えられたことと思いません。昨年は日本の景気はますます悪くなり、洪水などの自然災害もあり、そのうえにヒ素毒カレー事件、北朝鮮によるテポドン発射実験など暗い事の多かった年でした。今年は景気も回復軌道にめり、明るく楽しくびよんびよん跳ねるような良い年になって欲しいですね。

防衛大学校少林寺拳法部の場合、昨年は関東学生大会では団体演武、級拳士組演武の部門で最優秀、秋の全日本では団体演武、組演武3段以上、単独演武有段者で優秀賞を獲得しました。部員が少ない現状では予想以上の出来ではないかと思えます。これも広瀬主将が中心となって各部員が良く練習を重ねた成果ではないかと思えます。さらに昨年は、6月に湘南三浦ブロック少林寺拳法大会、11月には全自衛隊少林寺拳法大会を防衛大学校で開催しました。米山監督を中心とする防衛大学校勤務のOB、顧問と学生諸君の頑張りにより両大会とも成功裏に終わることができました。

現在渡辺君が主将になり先輩が築いた輝かしい伝統を引き継いで毎日練習を行っております。今年も部員の増加に一生懸命になりつつ、良い成果も上げられるよう頑張りますので、先輩諸兄の暖かいご支援とご指導をお願いします。

結 手

「出会い」

43期主将 廣瀬 繁

合掌

防大の4年間で様々な出会いをしました。しかし、防大少林寺拳法部との出会いほど大きな出会いはありません。もう一度したい経験、もう二度としたくない経験、多くの経験をさせていただきました。これらをただの思い出とせず、「今後どう活かすかによってその価値が決まる」と今つくづく感じております。

44期は今、運営と指導の難しさを痛感している頃だと思いますが、よく同期で団結して頑張ってください。君たちならできると信じています。

最後になりましたが、師範、部長を始め顧問、OBの方々から心から感謝申し上げます。今後とも変わらぬ御支援、御指導のほど宜しくお願い致します。

結手

「深さ」

43期副将 荒栄 拓也

合掌

一年というものが過ぎるのは早く、あっという間に政権交代が終わってしまった気がします。政権を終えるにあたって思うことは、少林寺は奥が深いと思います。私はこの4年間でその一端を見ることができたと思います。

さて、44、45、46期のみなさん、時は流れ部員が少なくなった今日と言えども、少林寺拳法部員たるの誇りを持って日々向上して行ってください。知力、体力ともに優れた立派な人を目指してください。君たちこそが希望なのです。

それではみなさん、有難うございました。

結手

「臥薪嘗胆」

44 期主将 渡邊 俊明

合掌

この度、44 期が政権を任されることとなりました。6 名と少数ながら、一致協力してこれまでやっていくことができました。先の全日本大会では苦杯を味わわれましたが、この悔しさをバネに臥薪嘗胆、心は一つにまとまっています。また、部の存続にかけて、新入部員の獲得に積極的に取り組む必要があります。活気のある活動を目指すには、どうしても人材の確保が不可欠です。そして、強くなりたいと思って入部してきた者に幻滅させないような練習計画をつくり、かつ、防大少林寺の伝統を浸透させることを目指していきたくと思っています。とりあえずは、少数であってもその分一人一人の意識づくりを行い、少数精鋭の部を目指し、皆が練習に没頭できるような環境を早々に作り上げたいと考えています。最後になりましたが、師範、部長をはじめ監督、顧問、OBの方々の厚いご支援に感謝して結びとさせていただきます。

結手

「新政権を迎えて」

44 期副将 伊藤 恒和

合掌

私が少林寺拳法部に入部して、早いものでもう 2 年が経ちました。格闘技などやったことのなかった私も、師範を始め諸先輩方のご指導の甲斐あって、「少林寺をやっています。」と、胸を張っていえるようになったと思います。

44 期はこれまでにない少人数の政権で、後輩指導、部運営の難しさを早くも痛感しています。45 期以下の部員には頼りない政権かもしれませんが、防大少林寺拳法部の伝統と実績を後輩につないでいけるよう、常に向上心を持って努力していきたくと思っています。

また、現在部員は 20 人と厳しい状況です。来年度は「少数精鋭」ならぬ「大人数精鋭」を目指して部員を増やし、活気を取り戻したいです。

45 期以下の部員は、受け身の練習ばかりではなく、「上手になりたい、強くなりたい。」といった目標を持って練習に励んでください。続けていけば、必ずいい結果に結びつきます。最後になりましたが、これからも変わらぬご支援、ご指導の程よろしく願いいたします。

結手

「私と少林寺拳法」

45期 澤水 隆一

合掌

私が少林寺拳法部に入部して、苦しい事、楽しい事、いろいろありましたが、一番心に残っていることは、関東学生大会です。カッター競技会が終わったその日から練習を始めても十日ぐらいしかなく、誰が出るのかも、誰と組むかも決まっていませんでした。私と堤拳士が出場することに決まりましたが、組むのが始めてだったので、間合いがなかなか合わずに、何度も注意されました。何度やっても上達できないのに悩んだりもしました。大会当日では、予選、本選とも頭の中が真っ白になって、自分がどんな演武をしているのかさえ覚えておらず、予選の順位もブロックの中で3位だったので、入賞は無理だと思っていたところ、段外の部で最優秀賞をとることができました。このときの感動は一生忘れません。それまで何度もやめたいと思ったことがありましたが、続けていて本当に良かったと思います。継続は力なり、を信じて、これからもがんばっていききたいと思います。

結手

「防大少林寺拳法部と私」

45期 津森 聡

合掌

私にとって防衛大学校に入校し、そして少林寺拳法部に入部することは、高校の時から夢でした。将来幹部自衛官になって自分を鍛えたかったのです。そしてその二つの夢がかなったとき、私にとって人生最大の受難が振りかかってきたのです。

入部してしばらくのうちは、ただひたすら体力増強に励む毎日でした。夏合宿も含め、毎日が一生懸命でした。そして一年の後期の茶帯自覚期間を奇跡的に乗り切ることができました。黒帯がだんだん近づいてきました。二年のカッター期間中も黒帯が頭をよぎり、悩まされました。そしていよいよ黒帯が始まりました。45期は怪我人が多く、最後の最後まで、完全な状態でそろそろことはありませんでした。同期全員で黒帯を手にする事ができました。やめようと思ったことも何度もありましたが、もう少林寺拳法なしでは生きられない体になってしまいました。

結手

「少林寺拳法と私」

46期 高橋 牧子

合掌

私は防大に入ってから少林寺拳法を始めました。ただ格闘技に興味があるというだけでなんとなく入部を決めました。入部してから思ったことは、一日のうちでクラブの時間が私にとって一番楽しいということです。どんないやなことでもすべて忘れられるこの時間が一番好きになりました。今年の少林寺拳法部の一年生は全部で八人、そのうち女子は私一人で、体力的に男子についていけることはほとんどありませんが、技をやるときになると男女の差などはほとんど関係ありません。むしろ、女子は男子に比べて力が無い分、技を性格にすることによってカバーしようとするから、少林寺拳法は女子に向いていると聞きました。

今はちょっと部員が少ないので、来年は女子にもたくさん入ってもらって、部員の全員に私と同じ思いを味わってもらいたいと思います。

結手

「少林寺と私」

46期 山本 剛嗣

合掌

私が防大に着校した時、部屋に行くと部屋の上級生が二人とも少林寺で驚きました。今振り返ると、この一件が私と少林寺との劇的な出会いでした。私はそのときまで少林寺拳法についても、防大少林寺についても全くの無知だったので、とりあえず見学にしてみました。はじめは乗り気ではなかったのですが、しだいに興味がわいてきて、結局入部しました。

少林寺は確かに練習内容においても厳しい面もあり、何人か辞めていった同期もいましたが、厳しさとともに耐えることで同期との絆も深まり、またきつさを乗り越えた後のさわやかさは他では得がたい財産だと思います。

最近私が思っていることは、妥協してはいけないけれども、限界を自分で知らねばならないということです。自分に負けない、それでいて自己管理をする、それはとても難しいことだと思います。

結手

部長・師範・顧問及び44期幹部名簿

1 部長・顧問

	所 属	内線	氏 名	住 所	電話番号
部長	化学教室 教授	2401	菅 野 等	〒236-0042横浜市金沢区釜利谷東6-34-1-411	045-786-5877
師範	正範士7段		田 村 倉 蔵	〒187-0041 小平市美園町3-27-5	03-3261-0955
"	三多奉勤館長 准範士6段		神 出 憲 和	〒272-0015 市川市鬼高2-12-5-705	0473-33-6645
"	准範士6段		頼 富 英 武	〒238-0315 横須賀市林5-6-11	0468-56-7663
"	防衛学教室事務室	3867	岩 谷 正 一	〒238-0021市内富士見町1-49第2ミナト館205	0468-23-6960
顧問	材料物性 講師	3662	有 賀 敦	〒239-0814 横須賀市二葉1-55 A-202	0468-44-0264
監督	陸上防衛学教室	3807	米 山 多佳志	〒239-0811 横須賀市走水2-26 J-303	0468-41-9277
顧問	"	3828	坂 野 佳 彦	〒239-0811 横須賀市走水2-26 H-204	0468-41-4669
"	学生課	2103	町 島 敏 幸	〒239-0814 横須賀市二葉1-55 C-205	0468-43-0508
"	研究科(総合安全保障)	3180	濱 田 秀	〒239-0814 横須賀市二葉1-55 C-103	0468-41-2355
"	"	"	大 井 一 史	〒239-0814 横須賀市二葉1-55 C-106	0468-43-6410
"	"	"	綿 森 昭 示	〒239-8686横須賀市走水1-10-20研究科学生会	050-393-4162
"	"	3186	遠 藤 英 隆	〒239-8686横須賀市走水1-10-20研究科学生会	な し
"	研究科(機械)	2324	平 瀬 慎	〒239-8686横須賀市走水1-10-20研究科学生会	な し
"	研究科(情報)	2435	木 下 治 信	〒239-8686横須賀市走水1-10-20研究科学生会	な し
"	研究科(数物)	3304	黒 子 智 彰	〒239-8686横須賀市走水1-10-20研究科学生会	な し

2 第44期

主 将 442 (3) 渡 邊 俊 明
 副 将
 3年係 — 441 (3) 伊 藤 恒 和
 安全係 —
 本 山
 統制長 — 112 (3) 増 山 哲 治
 訓練係 —
 道場長 — 413 (2) 八 尋 幸 一
 2年係 —
 1年係 —
 師範係 — 442 (3) 遠 藤 由 紀 子
 会 計 —
 O B 係 —
 主 務 312 (3) 西 尾 実
 渉 外 —

平成 10 年度成果報告

関東学生連盟大会(平成 10 年 5 月 4 日：日本武道館)

男子式段の部	決勝進出	121(4)荒栄拓也・111(4)松口俊三
男子単独の部	優秀賞	441(4)古谷尚久
男子段外の部	最優秀賞	413(2)澤水隆一・132(2)堤允良
団体演武の部	最優秀賞	413(4)廣瀬 繁・211(4)江畑泰孝 142(4)作田雄一・131(4)梅原 航 221(4)森脇竜二・442(3)渡邊俊明 131(3)増山哲治・413(2)八尋幸一

全日本学生大会 (平成 10 年 10 月 18 日：日本武道館)

男子単独の部	優秀賞	441(4)古谷尚久
女子単独の部	敢闘賞	442(3)遠藤由紀子
男子三人掛けの部	優秀賞	413(4)廣瀬 繁・442(4)古谷尚久 111(4)松口俊三
男女有段の部	敢闘賞	211(4)江畑泰孝・442(3)遠藤由紀子
団体演武の部	優秀賞	413(4)廣瀬 繁・142(4)作田雄一 131(4)梅原 航・221(4)森脇竜二 131(3)増山哲治・312(3)西尾 実 442(3)渡邊俊明・413(2)八尋幸一

第 53 回国民体育大会 (平成 10 年 10 月 25 日：開成町体育館)

披露演武	団体演武	121(4)荒栄拓也・131(4)梅原 航 142(4)作田雄一・221(4)森脇竜二 111(4)松口俊三・442(4)古谷尚久 312(3)西尾 実・413(2)八尋幸一
------	------	--

部 員 名 簿

(平成 11 年 1 月 1 日現在)

期別	小隊	専攻	要員	氏名
4 3 期	1 1 1	電氣	陸	松口 俊三
	1 2 1	通信	海	荒栄 拓也
	1 3 3	管理	陸	梅原 航
	1 4 2	管理	陸	作田 雄一
	2 1 1	土木	海	江畑 泰孝
	2 2 2	航宇	海	森脇 竜二
	2 3 1	電子	陸	徳永 亘*
	3 3 1	機シ	陸	藤本 裕介*
	4 1 3	国関	陸	廣瀬 繁
	4 3 1	国関	空	春日 英男
	4 4 1	精密	陸	古谷 尚久
4 4 2	情報	陸	関 大吾	
4 4 期	1 1 2	電子	陸	増山 哲治
	3 1 2	国関	海	西尾 実
	4 4 1	応化	空	伊藤 恒和
	4 4 1	地科	陸	遠藤 由紀子
	4 4 2	電氣	陸	渡邊 俊明
4 5 期	1 3 2	機シ	海	堤 允良
	2 1 3	国関	海	津森 聡
	2 3 2	国関	陸	八木 新
	4 1 3	電子	陸	八尋 幸一*
	4 2 1	土木	陸	澤水 隆一
4 6 期	1 1 1	理工		菊池 祐紀
	2 1 1	理工		伊藤 和典
	3 4 3	理工		村重 亮
	4 4 1	理工		本田 健
	4 3 3	理工		高木 聡
	4 4 1	人社		阪井 旭
	4 4 1	人社		山本 剛嗣
4 4 1	理工		高橋 牧子	

*印：留年

平成 11 年度少林寺拳法部年間計画

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
学校行事			春季休暇	入校式典 春季競技会			夏期定期訓練	夏期休暇	夏期競技会		開校記念祭	冬期競技会 冬期休暇
大会等	11~14 寒暑古	OB杯 大会	春合宿		関東学生大会	新技 昇段審査		夏合宿 本山合宿		全日本 政權交代		
4 学年		演武 期間	O B 杯	演武 期間	春 合 宿	演武 期間	基 本	昇 段 審 査	夏 合 宿	演 武 期 間	全 日 本 学 生 大 会	政 權 交 代
3 学年												
2 学年												
1 学年	基 本											

奧平會報



巻 頭 言

奥平会会長 鈴木 陽

合 掌

新年あけましておめでとうございます。会員各位におかれましては澄み切った元日の青空のような清々しい新年を迎えられたことと存じます。去る11月29日防衛大学校で全自衛隊少林寺拳法大会が行われましたが、成功裏に終了いたしましたことに会員一同、菅野部長はじめ関係者の皆様のご努力に対しまして敬意を表する次第であります。

さて、昨年はOB会として何か目に見える形での活動はないものかと考え、小原台と検町に勤務する会員の方々と相談しました。中には現役の拳士として活躍中の方もおられますが、相談の結果、関東学生連合会或いは母校での催しに会員が積極的に参加することにし、具体的に取り組んで参りました。このことの成果は期待できる程のものではないかもしれませんが、会の存在感を高めるとともに会員に対し「目的意識」を育む一助になれば幸いですし、何よりもOB会の目的の重要なものでもあると信じており、今年も継続していきたいと考えております。

防衛大学校少林寺拳法部の前身である同好会が昭和40年代のはじめに発足いたしましたから、約30年が経過しました。会員は自衛官として定年を迎えられた方、自衛隊以外で活躍されている方そして陸海空現役の者等、様々な立場で活躍されておられますが、少林寺拳法拳士として活躍した青春時代の熱き経験を貴重な思い出として、ともに語り合えるOB会にしていきたいものと念願しております。引き続き皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、会員並びに御家族皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

結 手

今後の活動資金について

(1) 10年度の会計について

10年度の会計は、9年度から引き続き会報発行における経費削減と少林寺拳法部への支援の見直しを実施しました。これにより昨年度と比較して約8万円の支出削減となりました。

(2) 残高推移の試算

今後、今年度と同様に会報発行費の削減等を行った場合、技術向上支援を除いた毎年の支出合計は約40万円に抑えることができると予測されます。これに30万円の技術向上支援を見積もると、合計で約70万円の支出となります。一人当たり約5万円の新規会員のOB会費収入のみでこれをまかなうとすると、各年度14名程度の学生が必要となります。現在の部員数は1学年当たり平均で約8名程度であり、部員数が現状の水準で推移した場合には1年度当たり30万円程度の残高の漸減が予想されます。現在の残高ですと5年程度は活動可能な状態を維持できますが、少なくとも向こう3年間のOB会費の増額は見込めないことから、平成11年度以降に新入部員数の飛躍的な増加が得られない限り、活動に支障をきたす事態に至るのは必至という危機的な状況にあることをご理解いただきたいと思います。

(3) 今後の対策

引き続き支出抑制の努力を継続することが重要ですが、現状程度以上の活動費等の削減は相当に困難であると思われることから、先の総会において発議いたしました特別会費の徴収について、引き続き検討を進めて参ります。より、根本的な解決策としては、新入部員数の増加が望まれることは言うまでもありません。昨今の新入部員数の減少は、今回のような会計状況の逼迫をもたらすのみならず、学生の活動及び成果の低調にもつながりかねません。部員勧誘環境としては昨今の風潮は厳しいものですが、防大勤務員のみならず、遠方にある会員も知恵を出し合って、より一層の部員勧誘の努力が望まれます。

収入		支出	
前年度繰越金	1,555,332	平成10年度会報発行費	70,770
OB会費(42期7名)	371,000	少林寺拳法部への支援	
支援金等	18,000	各種大会等	130,000
利息	24,456	各種行事	21,703
		技術向上支援	300,000
		奥平会運営および活動費	174,759
合計	¥1,968,788	合計	¥697,232
残高(収入-支出) =		¥1,271,556	

期連絡網

1 主旨

奥平会の有効活用と活性化を図るとともに、会員の名簿を効率的に整理する。

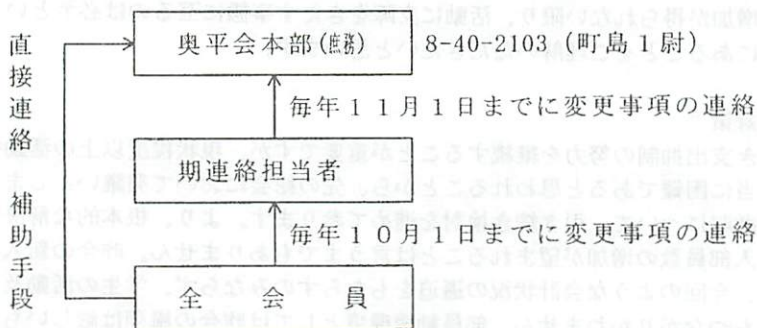
2 連絡の要領

- (1) 各期に1名、連絡担当者を置く。
- (2) 住所・所属等が変更になった場合、各人は毎年10月1日までに同期の連絡担当者に連絡し、変更事項を告げる。
- (3) 連絡担当者は、年度の変更事項をまとめて毎年11月1日までに奥平会本部（防大庶務）に連絡する。
- (4) その他、会員の慶弔に関する事項については、各人毎直接または連絡担当者を通じて奥平会本部に連絡するものとする。

3 連絡担当者の指名

3年を任期とし、次の担当者を指名する。（継続を妨げない）

4 期連絡網



5 期連絡担当者(H6.6～)

10	10A	蔵田 弘明	市ヶ谷	26	26F	福島 睦	空幕
11	11A	勝野 建朗	千僧	27	27F	堀田 隆治	桧町
12	12A	衛藤 利治	古河	28	28A	湯浅 悟郎	檜町
13	13A	高本 俊之	日本原	29	29A	古川 靖人	武山
14	14A	清水 重周	東千歳	30	30A	福田 洋司	目黒
15	15A	上杉 和壽	海田市	31	31N	迫田 浩文	大湊
16	16A	富本 啓一	八尾	32	32A	福重 毅尚	富士
17	17A	福澤 賢	伊丹	33	33A	富樫 勇	滝ヶ原
18	18F	笠原 久	桧町	34	34A	竹内 博忠	岐阜
19	19A	前之園敏雄	朝霞	35	35A	戒田 重雄	習志野
20	20A	小林 実	富士	36	36A	藤岡 史生	真駒内
21	21A	湖崎 隆	目黒	37	37N	高取 哲朗	徳島
22	22A	松村 利宏	桧町	38	38A	奇藤 浩	神町
23	23A	日高 政広	桧町	39	39A	中村公多朗	八戸
24	24F	中館 利光	千歳	40	40A	上野洋介	名寄
25	25N	内山 哲也	船越	41	41A	後藤 仁志	守山

平成10年度奥平会活動概要

1 現役部員に対する支援

夏季合宿、市民大会、国体、全自大会、関東・全日本学生大会等に対し支援を実施致しました。特に顧問が少ない中、夏季合宿、市民大会・全自大会の防大での開催を乗り切れましたのも、OBの方々のご多忙中にも係わらず、大会等の応援に駆けつけてくださったお陰と感謝いたしております。来年度につきましてもできる限り大会の予定を御連絡いたしますので、応援の程よろしくお願い致します。

2 総会の実施

3月11日、目黒において開催をお願いいたしました。出席いただいた会員の方々、ありがとうございました。

なお本総会におきまして活動報告及び会計報告を行ったほか、技術向上支援の増額と特別会費の徴収について発議し、技術向上支援の増額については承認、特別徴収について今後検討を行うこととされました。今後、ご協力をお願いすることになるかもしれませんが、ご理解のほどお願いいたします。

3 平成10年度会計報告

別項の通り報告します。

4 連絡事項

(1) 会員名簿の更新について

会員名簿につきまして所属等不明者は、空欄にしております。本人若しくはその所属等を知っておられる方、また記載内容の間違い等にお気づきの点がございましたら期連絡担当者または防大本部庶務まで御連絡下さい。

なお、所属等不明者には部誌を発送しておりません。

(2) 期連絡網について

期連絡網について別項のように設置していますので、会員の皆様におかれまして住所の変更等ありましたら期連絡担当者まで御連絡をお願いします。

(3) 本部連絡先

防衛大学校 学生課 1等海尉 町島敏幸(庶務)
Tel 専用線 8-40-2103
局線 0468-41-3810

(4) 平成11年度奥平会本部

会 長	17A	鈴木 陽 (健華)
副会長兼会計監査委員	26A	坂野佳彦 (防大 3828)
幹 事	27A	米山多佳志 (防大 3807)
庶 務	33N	町島敏幸 (防大 2612)
会 計	39A	遠藤英隆 (防大 3186)

(5) その他

ア 会員の慶弔がありましたら、期連絡担当者若しくは本部庶務までご本人または近傍の会員の方から御一報頂きますようお願いいたします。

イ インターネットの防大ホームページ (<http://www.nda.ac.jp/index-j.html>) に少林寺拳法部のコーナーを開設しました。活動状況、成績等も掲載していく方針です。また、これまで経済的にも作業的にも防大本部員を圧迫してきた会報の作成・配布をこのホームページに代えることも検討しております。

5 奥平会名簿

別項の通り御連絡します。

少林寺拳法部への支援に対する御礼

少林寺拳法部への支援に対する御礼

本年度行われました諸大会・夏季合宿等、多くのOBの方々にご支援いただき、ありがとうございました。

また、会計の報告にありますように、部への活動に対して多大なる金銭的支援もいただき、この場をおかりしまして、御礼申し上げます。

部長 菅野 等

(印) 菅野 等 部長
 〒180-0808 東京都荒川区西日暮里
 〒180-1100 東京都荒川区西日暮里

少林寺拳法部への支援に対する御礼

氏名	金額	備考
田中 隆夫	10,000	
山田 隆夫	5,000	
佐藤 隆夫	3,000	
鈴木 隆夫	2,000	
高橋 隆夫	1,000	

以上が本年度の支援者の方々です。誠にありがとうございました。

お問い合わせ先：少林寺拳法部 事務局
 〒180-0808 東京都荒川区西日暮里
 TEL: 03-5621-1111 FAX: 03-5621-1112

少林寺拳法部

〒180-0808 東京都荒川区西日暮里

奥平会名簿

1 名誉会員

職名	氏名	現所属	連絡先	備考
部長	菅野 等	化学教室	〒236-0042 横浜市金沢区釜利谷東 6丁目34番 1-411 Tel045-786-5877	防大 2401
師範	田村倉藏		〒187-0041 小平市美園町3-27-5 Tel0423-43-0416	
師範	神田憲和		〒272-0015 市川市鬼高2-12-5-705	
師範	頼富英武		〒238-0315 横須賀市林5-6-11 Tel0468-56-7663	
前部長	丸川武志		〒120-0046 足立区小台2-33-2 Tel03-3919-5910	
元校友 会会長	土田國保		〒115-0056 東京都北区西が丘1-28-4 Tel03-3900-0409	
元顧問 (OB以外)	奥平正人 (奥平会幹事長)		〒828-0044 豊前市小石原392-3 Tel0979-82-2287	10期～ 4大級指導教
〃	松木			
〃	前原良弘		〒252-0802 藤沢市高倉950-5	
〃	松本宏			
〃	宍戸俊之		〒237-0071 横須賀市田浦港町24 Tel0468-22-3500	
〃	森田晃一			17～19期 指導教官
〃	辻 勇雄			S51.12～ S54.1 指導教官
〃	今別府政実			S55.3～S57.8 指導教官
〃	富野 博			H1.3～H3.8 指導教官
〃	米村ゆかり			研究科28期

期別	要員	氏名	基地等	所属部隊等
10	A	蔵田 弘明	退職	344-0007 埼玉県春日部市小淵1239-8
10	A	黒野 耐	目黒	防衛研究所主任研究官
10	A	清水 葛男	目黒	幹部学校研究部長
10	A	松島 順一	練馬	練馬駐屯地業務隊長
10	A	三井 光夫	目黒	防衛研究所
10	N	岡崎 昭一	退職	231-0821 神奈川県横浜市中区本牧原11-1-1103 三浦海岸ハイワ14-1441
10	F	鈴木 勝人	浜松	第1航空団 団司令部
10	F	出田 弘一	退職	889-1403 大東京火災宮崎サービスセンター調査部
11	A	勝野 建郎	退職	664-0004 伊丹市東野7-61-1 エミネンス東野305
11	A	須ヶ崎 了英	健軍	西部方面総幹部
11	A	廣岡 征夫	退職	広岡事務所
11	A	水野 照夫	用賀	関東補給処 用賀支処
11	A	坂元 正昭	退職	国際デジタル通信(株)
11	N	佐藤 正秀	退職	愛心会大隅鹿屋病院
11	N	渡辺 貞吉	退職	(株)日立アドバンスシステムズ
11	F	上田 勇作	退職	南国殖産(株)
11	F	清水 正睦	松島	第4航空団司令
11	F	田谷 俊之	札幌	北部方面総監部
11	F	藤田 尚	入間	第4補給処副処長
12	A	新井 宏	逝去	
12	A	衛藤 利治	小郡	小郡駐屯地業務隊
12	N	佐藤 備凡	横須賀	護衛艦隊司令部
12	N	津川 保夫	呉	JRC特機呉事業所
12	N	橋田 典幸	佐伯	佐伯基地分遣隊
12	F	野中 紘治	浜松	空自第1術科学校学生隊長
12	F	野口 昭徳	熊谷	第4術科学校第2教育部長
13	A	石原 薩雄	北熊本	北熊本駐屯地業務隊
13	A	白石 克成	北富士	第1特科連隊第5特科大隊 本部及び本部管理中隊
13	A	高本 俊之	大久保	第4施設団本部及び本部付隊
13	A	戸田 勝秋	松戸	関東補給処 松戸支処
13	A	西村 繁樹	目黒	幹部学校教官
13	A	益田 修	健軍	九州補給処健軍支処
13	F	松生 剛	芦屋	第13飛行教育団総務部長
14	A	赤瀬 良二	帯広	第5特科連隊 本部及び本部中隊
14	A	斉藤 正精	退職	日本IBM(株)
14	A	清水 重周	朝霞	東部方面輸送隊長
14	A	清水 直正	相馬原	相馬原駐屯地業務隊
14	A	中原 勇	千僧	第3師団幕僚長
14	A	原田 敏男	山口	第17普通科連隊 本部及び本部管理中隊
14	N	森田 則広	逝去	
14	F	今井 岸男	退職	三陽機器(株)
14	F	高須 好美	退職	高須電気エンジニアリング(株)
15	A	井口 昌之	大宮	化学学校主任研究員
15	A	上杉 和壽	朝霞	東部方面輸送隊本部
15	A	大竹 義信	岩見沢	第12施設群 本部及び本部管理中隊
15	A	岡 隆	朝霞	第31普通科連隊 本部及び本部管理中隊
15	A	長 敬天	香川	香川地方連絡部
15	A	奥野 耕三	宇治	関西補給処 企画室
15	A	加藤 三千夫	桧町	陸上幕僚幹部 装備部通信電子課
15	A	遠田 雅美	北千歳	北千歳駐屯地業務隊 総務課
15	A	土居 良治	札幌	北部方面警務隊本部
15	A	野間 光男	退職	891-0103 鹿児島県鹿児島市皇徳寺台3-21-8 鹿児島大勤務
15	A	花房 晃夫	北熊本	北熊本駐屯地業務隊 総務課
15	A	古川 照久	伊丹	中部方面総監部
15	A	三嶋 利克	檜町	檜町警備隊本部 管理課 2956
15	N	今村 修二	呉	ひえい
15	N	中島 栄一	八戸	第2航空群司令部
15	N	山下 啓介	退職	(株)インテック 特機システム部
15	N	山崎 富雄	横須賀	電子情報業務支援隊
15	F	島田 徹	入間	第1高射群副司令
15	F	福嶋 健司	春日	西部航空警戒管制団 基地業務群
15	A	安村 幸次	横浜	横浜防衛施設局事業部
16	A	内山 晃	小平	調査学校
16	A	岡田 正一	伊丹	中部方面総監部装備部
16	A	佐々木 二郎	練馬	練馬駐屯地業務隊
16	A	斉藤 健治	目達原	九州補給処
16	A	竹内 準一	岡山	岡山地方連絡部
16	A	富本 啓一	丘珠	北部方面航空隊本部
16	A	平川 真士	北千歳	第71戦車連隊長

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等
16	A	芦岡 広明	北宇都宮	航空学校宇都宮分校教育課長
16	N	阿部 哲夫	横須賀	誘導武器教育訓練隊
16	N	福島 一夫	逝去	
16	F	小笠原 猛	退職	自営業
16	F	八木橋 亨	殉職	
17	A	荒木 正廣	善通寺	第2混成団本部
17	A	飯島 定雄	市ヶ谷	通信団 本部および本部付隊
17	A	小池 保治	福島地連	自衛隊福島地方連絡部
17	A	小坂 正志	府中	調達実施本部 府中調達管理事務所
17	A	佐藤 吉信	明野	航空学校
17	A	鈴木 陽	檜町	陸上幕僚監部 装備部 装備計画課
17	A	高橋 輝正	退職	NEC無線事業本部 誘導光電事業部
17	A	富安 久芳	小倉	第40普通科連隊 本
17	A	中尾 吉孝	東京地連	自衛隊東京地方連絡部
17	A	廣瀬 誠	檜町	陸上幕僚監部 防衛部運用課
17	A	福澤 賢	檜町	陸上幕僚監部 監理部総務課
17	A	村田 芳次	武山	第117教育大隊本部
17	A	吉川 雄二	上富良野	第117特科大隊 本部および本部中隊
17	N	塔岡 道夫	呉	第2海上訓練指導隊
17	N	西嶋 正幹	退職	981-3362宮城県黒川郡富谷町 日吉台2-22-12
17	N	久和 清幸	横須賀	横須賀戦術訓練装置運用隊
17	F	石渡 幹生	目黒	航空自衛隊幹部学校 研究部 第2研究室
17	F	稲見 深	百里	偵察航空隊 整備群
17	F	澤 博海	退職	739-0002広島県東広島市西条町吉行1-40
17	F	永富 信吉	目黒	航空自衛隊幹部学校 教育部
17	F	西岡 義博	府中	航空総隊司令部 総務部 総務課
17	F	細田 敏夫	退職	370-0864群馬県高崎市石原町1729-1
17	F	前田 慎一	浜松	航空救難団 飛行群 浜松救難隊
17	F	松田 清明	那覇	南西航空施設隊
17	F	山本 剛	退職	
17	F	磯野 茂樹	熊谷	航空自衛隊第4術科学校第1教育部
18	A	安藤 恒夫	小平	業務学校
18	A	上田 正文	朝霞	東部方面総監部
18	A	大西 正俊	檜町	陸上幕僚監部 教育訓練部 <i>改号 14年 2650</i>
18	A	河野 基春	健軍	西部方面総監部
18	A	川原 彰	真駒内	第101地区警務隊
18	A	門野 陸廣	市ヶ谷	通信団 本部
18	A	工藤 重見	三宿	技術研究本部
18	A	首藤 敏明	十条	陸上自衛隊 補給統制本部
18	A	紫村 敏二	檜町	陸上幕僚監部 調査部調査課
18	A	千原 和人	松戸	需品学校
18	A	中島 仁文	目達原	九州補給処
18	A	麩澤 章雄	鹿追	鹿追駐屯地業務隊
18	A	宮田 秀二	立川	東部方面航空隊 本部および本部付隊
18	A	渡辺 義幸	飯塚	第3高射特科群 本部および本部管理中隊
18	N	岩淵 秀樹	檜町	海上幕僚監部 防衛部 運用課
18	N	近藤 清司	厚木	航空集団司令部
18	N	平原 誠	目黒	防衛研究所 第1研究部 第3研究室
18	N	松井 博	厚木	第51航空隊
18	F	笠原 久	根室	北部方面警戒管制団 第26警戒群
18	F	白敷 裕樹	退職	京都産業大学 615-0883京都市右京区西京極南大入町54-5
18	F	長尾 齋	市ヶ谷	統合幕僚会議事務局 情報本部
18	F	勘米良幸一	春日	西部航空方面隊司令部 装備部 計画課
19	A	青柳 忍	富士	富士学校
19	A	迫田 直心	福岡地連	自衛隊福岡地方連絡部
19	A	園部 武典	檜町	陸上幕僚監部 調査部調査課
19	A	津留崎清宝	船岡	第2施設団 本部および本部付隊
19	A	野村 俊朗	富士	装備開発実験隊
19	A	廣瀬 和紀	春日	自衛隊福岡病院
19	A	東 光博	退職	㈱フォーカスシステムズ 279-0026浦安市弁天2-17-12
19	A	古庄 和裕	朝霞	東部方面総監部
19	A	前之園敏雄	大村	第4施設大隊 本部および本部管理中隊
19	A	三星 忠正	仙台	東北方面調査隊
19	A	屋久 俊郎	宇都宮	第12特科連隊 第1特科大隊 本部および本部管理中隊
19	A	横島 秋男	退職	351-0106和光市広沢1-13-508
19	N	松山 守秀	檜町	海上幕僚監部 装備部航空機課
19	F	磯 光三		調達実施本部 宇都宮調達管理事務所
19	F	小曲 一之	目黒	統合幕僚学校 研究室
19	F	郷田 進	奈良	幹部候補生学校 教務課

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等
19	F	後藤 章	退職	トリアム・サンカクヤ 816-0000春日市紅葉ヶ丘6-16
19	F	杉山 昌宏	退職	東芝マイクロエレクトロニクス(株) ASIC開発部
19	F	園山 栄一	退職	北九州市門司東1-1-20-10
19	F	田中 秀明	相模原	技術研究本部 第4研究所
19	F	藤井 和弥	檜町	航空幕僚監部 整備課 整備基準班
19	F	松下 睦裕	築城	第8航空団 整備補給群
19	F	吉本 博	岐阜	第2補給処 整備部
20	A	浅原 昭夫	明野	飛行開発実験隊
20	A	楠本 裕幸	檜町	陸上幕僚監部付
20	A	小林 実	富士	装備開発実験隊
20	A	榭 喜隆	札幌	第101システム管理隊
20	A	高岡 正明	健軍	西部方面総監部
20	A	仲原 久晃	目黒	陸上自衛隊幹部学校
20	A	半澤 康司	目黒	陸上自衛隊幹部学校
20	A	馬場崎 修	退職	星商事(株) 東京支社 184-0011小金井市東町5-17-19
20	A	伏木 享	桂	第103不発弾処理隊
20	A	山形 克己	檜町	陸上自衛隊 装備部航空機課
20	N	木村 孝彦	檜町	海上幕僚監部人事教育部教育課
20	F	石田 裕	熊谷	航空自衛隊第4術科学校 第1教育部
20	F	岸本 昌文	退職	三菱重工(株) 名古屋航空宇宙システム製作所
20	F	高林 久	府中	航空総隊司令部 防衛部 防衛課
20	F	岳川 清美	市ヶ谷	統合幕僚会議事務局 情報本部
20	F	南園 宏	三沢	警戒航空隊 601飛隊
20	F	田中 和之	檜町	航空幕僚監部 教育課 術科教育班
21	A	大谷 昭次郎	檜町	陸幕調査部調査課
21	A	加藤 隆	札幌	北部方面総監部防衛部
21	A	貴志 倫生	伊丹	会計監査隊中部方面分遣隊
21	A	桑原 幹夫	檜町	陸幕管理部法務課
21	A	湖崎 隆	檜町	陸幕防衛部防衛課
21	A	澤井 研次	札幌	北部方面総監部防衛部
21	A	園田 郁夫	檜町	陸幕付
21	A	高橋 久奏	仙台	東北方面総監部監察室
21	A	野中 敏治		逝去
21	A	花田 一志	仙台	東北方面総監部総務部
21	A	浜崎 勝	東千歳	第7後方支援連隊
21	A	渡部 誠	富士	装備開発実験隊
21	N	城山 宏誠	退職	
21	N	福岡 誠	檜町	海幕監理部総務課
21	N	村田 隆斉	目黒	幹部学校幹部高級課程学生
21	N	山口 次郎	鹿屋	第211教育航空隊
21	F	山 幸保	春日	西部航空方面隊装備部補給課
21	F	黒澤 豊彦	十条	補給本部1部1整課
21	F	真田 雅章	府中	南混団司令部防衛部運用課
21	F	朱 永武	留学生	シンガポール在住
21	F	杉本 弥行	入間	第3補給処
21	F	鍋島 和史	退職	
21	F	沼田 幸男	百里	偵察航空隊
21	F	平本 行	百里	第7航空団司令部
21	F	廣江 勝馬	檜町	空幕会計課主計班
21	F	松本 修司	千歳	第2航空団施設隊
21	F	原田 俊幸	檜町	空幕防衛部防衛課
22	A	大本 健吾	東立川	中央地理隊
22	A	財城 昭彦	目黒	幹部学校幹部高級課程学生
22	A	島松 正一	八戸	第8高射特科群
22	A	永栄 文晴	目黒	幹部学校幹部高級課程学生
22	A	野口 利保	札幌	北部方面総監部防衛部
22	A	原田 有繁	札幌	北部方面総監部防衛部
22	A	松本 俊二	札幌	札幌地連
22	A	松村 利宏	檜町	陸幕防衛部防衛課
22	A	吉岡 聖二	目黒	統合幕僚学校
22	N	高塚 裕幸	呉	はるゆき艦長
22	N	塚田 真司	横須賀	自衛艦隊司令部
22	N	中谷 茂	佐世保	いわせ艦長
22	N	延近 保生	下総	下総航空工作所形態管理科長
22	N	坊垣内 広明	横須賀	第2潜水隊群幕僚
22	F	木戸 文夫	新田原	航空救難団救難隊
22	F	小関 信宏	府中	防空指揮群
22	F	酒井 伸	芦屋	第13飛行教育団
22	F	堂込 勝也	小牧	航空救難団整備群

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等
22	F	永瀧 盛重	入間	第3補給処
22	F	野村 勝廣	檜町	空幕援護業務課
22	F	横手 裕明	檜町	統合幕僚会議事務局
23	A	奥野 和男	旭川	第2後方支援連隊輸送隊長
23	A	谷崎 敏弘	帯広	第5師団司令部第2部
23	A	廣塚 雅史	檜町	陸幕防衛部運用課
23	A	日高 政広	檜町	陸幕付
23	A	丸山 和宏	留萌	第26普通科連隊
23	A	三木 本秀	伊丹	中部方面總監部防衛部
23	A	若杉 治徳	札幌	北部方面總監部
23	A	岩田 清文	玖珠	第4戦車大隊長
23	A	浦川 平次	習志野	第1空挺団本部
23	N	井之久 保雄	呉	まつゆき
23	N	井口 義定	檜町	海幕航空機課
23	N	数野 謙一	横須賀	横須賀地方總監部人事課
23	N	畑中 孝行	目黒	防衛研修所
23	N	山下 啓治	目黒	海上自衛隊幹部学校研究部員
23	N	四元 和生	呉	潜水艦教育訓練隊
23	F	池邊 正	檜町	空幕防衛課
23	F	馬谷 誠二	退職	KSI(株) 八尾市天王寺屋3丁目84-2-703
23	F	川添 一正	退職	
23	F	シンナロン	留学生	タイ王国在住
23	F	松尾 茂	檜町	空幕技術1課
23	F	宮田 義章	那覇	第83航空隊
24	A	浅野 博義	郡山	第6特科連隊 第5特科大隊 本部および本部管理中隊
24	A	稲葉 貞志	神町	第6飛行隊
24	A	太田 尚志	海田市	第13師団司令部 第1部
24	A	久和美	新発田	第30普通科連隊 本部および本部管理中隊
24	A	金田 辰美	十条	陸上自衛隊 補給統制本部
24	A	芹川 慎介	市ヶ谷	中央調査隊
24	A	高澤 慎司	退職	㈱東京アイシーエス
24	A	常田 義則	退職	日立コノユウター機器㈱ 250-0215小田原市千代475-1
24	A	中村 健蔵	檜町	技術研究本部
24	A	西津 護	松本	第13普通科連隊 本部および本部管理中隊
24	A	渕 靖隆	竹松	第108高射直接支援隊
24	A	堀之内 誠	檜町	陸上幕僚監部 調査部調査課
24	A	山田 雅巳	仙台	東北方面總監部 防衛部 防衛課
24	A	山川 純次	檜町	陸上幕僚監部 装備部 開発課
24	N	小川 勝志	呉	潜水艦教育訓練隊
24	N	佐伯 泰啓	横須賀	はるさめ
24	N	中村 早速	江田島	海上自衛隊 第1術科学校
24	N	長谷川 隆	退職	㈱ムーブ
24	N	松本 俊宏	退職	379-2123 前橋市山王町2-23-7
24	N	山本 浩	退職	㈱山本産業 800-0257北九州市小倉南区湯川3-8-16
24	F	佐藤 秀幸	檜町	航空幕僚監部 運用課 運用第1班
24	F	清水 尚志	檜町	航空幕僚監部 調達課 調達第1班
24	F	出口 潔	入間	中部航空方面隊司令部 監理部 会計課
24	F	中館 利光	檜町	航空幕僚監部 補給課 補給第3班
24	F	藤城 希恭	府中	航空総隊司令部 防衛部 運用課
24	F	山田 眞一	春日	西部航空方面隊司令部 防衛部 防衛課
25	A	石川 哲也	朝霞	東部方面總監部 法務課
25	A	大内 元	目黒	陸上自衛隊幹部学校
25	A	岡元 正一	郡山	第6特科連隊 本部および本部中隊
25	A	小野 寺 靖	檜町	陸上幕僚監部 教育訓練部
25	A	小菅 康雄	相模原	技術研究本部 第4研究所 第2部
25	A	佐伯 義次	檜町	陸上幕僚監部 教育訓練部訓練課
25	A	重石 義幸	那覇	米海兵隊陸上連絡官
25	A	田草 茂人	目黒	陸上自衛隊幹部学校
25	A	若本 順二	宇治	関西地区補給処
25	N	内山 哲也	呉	かしま
25	N	籠谷 貴年	横須賀	プログラム業務隊
25	N	河村 正雄	呉	いそゆき
25	N	杉原 耕二	檜町	東京業務隊付
25	N	高畠 修	岩国	第8航空隊
25	F	安芸 一	檜町	統合幕僚会議事務局 第1幕僚室 企画班
25	F	尾崎 信朗	檜町	航空幕僚監部 通電課 総括班
25	F	坂本 卓己	檜町	航空幕僚監部 整備課 整備1班
25	F	藤吉 恵一	檜町	航空幕僚監部 補給課 補給第2班
26	A	石川 毅	朝霞	東部方面總監部

期別	要員	氏名	基地等	所属部隊等
26	A	内海 浩	檜町	陸上幕僚監部 装備部航空機課
26	A	小野 長門	退職	熊本工業大学
26	A	及川 幸夫	富士	富士学校 普通科部
26	A	金子 寿弥	普通寺	第310武器野整備中隊
26	A	坂野 佳彦	富士	富士学校 機甲科部戦術班
26	A	谷 俊彦	目黒	陸上自衛隊幹部学校
26	A	滝沢 由則	退職	三菱スペースアクトワーク(株) 札幌市中央区南12西16滝沢由子方
26	A	友部 隆	富士	富士学校
26	A	中村 明弘	退職	横浜市緑区長津田3-27-14-102
26	A	河原 敏和	退職	第1地所(株) 176-0005練馬区旭丘1-63-7
26	A	松田 正行	目黒	陸上自衛隊幹部学校
26	A	山下 清隆	檜町	陸上幕僚監部 調査部調査課
26	A	吉田 英紀	檜町	陸上幕僚監部 監察官
26	A	吉田 吉宏	十条	陸上自衛隊 補給統制本部
26	A	石山 暁	相馬原	第12師団司令部
26	N	市坪 秀明	檜町	海上幕僚監部 防衛部 運用課
26	N	上野 真一郎	厚木	第51航空隊
26	N	佐藤 寿紀	大湊	ゆうばり
26	N	杉山 義和	横須賀	つしま
26	N	道満 誠一	横須賀	ゆきしお
26	N	平野 勝	舞鶴	舞鶴地方総監部
26	N	水野 伸彦	八戸	第2航空隊
26	N	相良 達也	厚木	第3航空隊
26	F	池島 暢也	檜町	航空幕僚監部 整備課 整備第4班
26	F	澤木 優輔	退職	未来産業団
26	F	福島 睦	百里	第7航空団 第305飛行隊
26	F	星川 敦	十条	航空自衛隊補給本部 2部 2整課
26	F	米子 誠二	檜町	航空自衛隊幹部学校 第4教官室
27	A	大居 一之	三宿	技術研究本部
27	A	大石 隆一	小平	調査学校
27	A	大場 美英雄	檜町	陸幕調査部調査課
27	A	緒方 禎浩	退職	ご逝去 熊本市楠2-9-1 緒方一生方
27	A	小川村 治彦	退職	小野田自然塾 つくば市東2-10-2-201
27	A	行事 正	下志津	高射学校
27	A	角南 良治	檜町	陸幕防衛部防衛課
27	A	長合 友造	檜町	陸幕人事部人計課
27	A	津田 浩司	健軍	第5地对艦ミサイル連隊第4射撃中隊
27	A	濱田 秀	防大	防衛大学校安保研究科
27	A	馬場 政和	退職	不明
27	A	舞原 博己	檜町	陸幕装備部通電課
27	A	山之上 哲郎	檜町	陸幕人事部人計課
27	A	米山 多佳志	防大	防衛大学校陸防教室
27	A	小川 昌宏	佐世保	佐世保補給本部
27	N	交口 俊介	檜町	海幕防衛部防衛課
27	N	五領 隆男	呉	呉地方総監部管理部人事課
27	N	中里 巧	退職	中島機械 横須賀市鴨居2-69-4
27	N	益田 徹也	大村	大村航空基地隊
27	N	山田 洋士	檜町	海幕防衛部運用課
27	N	足立 謹聡	入間	航空救難団 団司令部 防衛部
27	N	甲斐 新太	十条	補給本部1部1整課
27	F	兼古 修	新田原	第5空団飛行群202飛行隊
27	F	蔵田 衛人	退職	日商岩井 宝塚市すみれが丘1-7-1-1106
27	F	沢村 徹	退職	リアル 町田市忠生3-14-3-2-201
27	F	高野 宗治	檜町	空幕運用課運用第2班
27	F	西山 利昭	退職	水沢税務会計事務所長野市往住地1340-1-502
27	F	堀田 隆治	浜松	第1空団整備補給群補給隊
27	F	元木 啓嗣	浜松	第1術科学校教務課
28	A	畦地 勇	退職	在米日本大使館
28	A	足立 哲彦	土浦	武器学校
28	A	岡澤 武彦	富士	戦車教導隊第2戦車中隊
28	A	北原 秀章	福岡	第4偵察隊
28	A	幸野 英明	檜町	陸幕教訓部教育課
28	A	古賀 敏明	富士	富士学校特科部
28	A	越水 達哉	退職	東牟婁郡那智勝浦町朝日3-156
28	A	鶴見 耕市	退職	東電設計 横浜市戸塚区信濃町535-2-D-508
28	A	永井 大介	退職	日立造船システム
28	A	日高 信行	富士	富士学校総研部
28	A	藤原 修	檜町	陸幕装備部開発課
28	A	三好 邦夫	富士	装備開発実験隊

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等
28	A	矢野 光宏	檜町	陸幕教訓部訓練課
28	A	湯浅 悟郎	目黒	陸自幹部学校
28	A	吉田 正人	退職	大倉商事 メカトロニクス部
28	N	上野 清昭	檜町	海自東京業務隊
28	N	内田 公明	横浜	調達実施本部 横浜支部
28	N	河津 稔	檜町	海幕監理部經理課
28	N	鈴木 巧	退職	フクダ福田電子 つくば市上広岡460-62
28	N	竹本 直忠	舞鶴	舞鶴地方総監部管理部人事課
28	N	中川 勝也	退職	トヨタ自動車第2ボデー設計部
28	N	西小路 謙	退職	航空大学校 宮崎市小松1241-6-14
28	N	平島 一	退職	日本電腦相談
28	F	米田 健二	退職	不明
28	F	今井 邦夫	檜町	空幕補給課補給第2班
28	F	神山 隆	退職	キャノン 茨城県牛久市猪子町992-648-202
28	F	白水 裕人	那覇	南西航空混成団司令部防衛部防衛課
28	F	末廣 勝己	岐阜	飛行開発実験団飛実群飛行隊
28	F	堀米 浩章	千歳	第2空団司令部監理部
28	F	山田 顕嗣	檜町	空幕援護業務課計画班
29	A	青柳 光	退職	山梨ソフトウェア㈱ 山梨県中巨摩郡昭和町上河東543-1-30
29	A	浅川 玉樹	退職	日産自動車㈱ 神奈川県川崎市宮前区鷺沼1-18-16-205
29	A	蛭原 良雄	檜町	陸幕装備部武器化学課車両班
29	A	大川 浩史	習志野	第1空挺団普通科群第4中隊長
29	A	甲斐 正人	研修	三菱総合研究所産業制作部
29	A	川上 和美	退職	不明
29	A	駒井 紀美彦	前川原	陸上自衛隊幹部候補生学校教育部第3教育科
29	A	坂井 辰也	海田市	第13通信大隊S-3主任
29	A	新保 博徳	土浦	武器学校武器学校付#41FOC
29	A	鈴木 総一郎	逝去	
29	A	託摩 安廣	退職	たくま歯科医院 079-8413北海道旭川市永山3条7-1-1
29	A	立林 剛	檜町	陸幕訓練教育部訓練班
29	A	谷 拓弥	檜町	陸幕訓練教育部教育班
29	A	津田 芳明	松戸	第2高射特科群 第302高射搬送通信中隊長
29	A	中村 浩之	南与座	第6高射特科群 第326高射中隊長
29	A	古川 靖人	練馬	第1後方支援連隊武器大隊第1中隊長
29	A	古田 清悟	福岡	第4師団司令部第3部訓練班長
29	A	松岡 恭一	退職	日立製作所㈱ 千葉県柏市日立台1-1-2-306
29	A	水上 義仁	市ヶ谷	中央システム管理隊開発隊開発班
29	N	柏木 均	呉	潜水艦あきしお
29	N	小屋敷 秀彦	退職	371-0246群馬県勢多郡宮城村大字柏倉3693-3
29	N	佐竹 右幾	退職	926-0828石川県七尾市白馬町ワ部10-1
29	N	宮田 敏邦	佐世保	護衛艦はるな
29	N	山崎 浩一	横須賀	護衛艦はつゆき
29	F	熊田 原修	岐阜	飛行開発実験団整備群整備隊長
29	F	高松 実	檜町	統合幕僚会議事務局第4幕僚室後方補給班
29	F	西村 政恭	檜町	航空幕僚監部防衛部通信電子科
30	A	池永 博和	檜町	陸幕装備部通信電子課
30	A	岩熊 真司	檜町	陸幕装備部開発課
30	A	魚躬 治晴	退職	リサーチ証券 京都市中京区錦小路堀川東入三文字町571-403
30	A	魚住 晴康	立川	東方ヘリ隊 第2飛行隊
30	A	亀山 淳	市ヶ谷	32普通連2中長
30	A	笠島 広文	退職	鯖江市役所市長室 鯖江市水落町1-4-23
30	A	菅野 俊夫	健軍	第302通信支援中隊
30	A	土屋 甲吉	檜町	長官官房広報課
30	A	中井 馨	退職	日本アーム工業 兵庫県川西市大和東1-17-9
30	A	中村 大助	那覇	第1混成団本部及び本部付隊
30	A	中川 洋行	明野	陸自飛行開発実験隊
30	A	中森 雅美	檜町	檜町駐屯地業務隊
30	A	西 良典	朝霞	31普通連1中長
30	A	林 宏	札観	会計監査隊 北部方面派遣隊
30	A	福田 洋司	島松	第303武器野整備中隊
30	A	船津 達男	退職	嘉穂東高校 田川郡赤池町大字赤池402-17
30	A	松岡 恭一	退職	日立製作所 柏市日立台1-1-2-306
30	A	宮本 善弘	目黒	陸自幹部学校
30	A	矢納 裕	小平	業務学校
30	A	山口 芳正	練馬	1普通連2中長
30	N	鈴木 達雄	退職	三菱重工 小牧市城山2-11-4-808
30	N	時久 寛司	那覇	第5航空隊
30	N	百崎 邦彦	館山	第121航空隊
30	N	湯浅 秀樹	檜町	海幕防衛部運用課

期別	要員	氏名	基地等	所属部隊等
30	F	栗田 尚幸	殉職	ご逝去 小笠郡菊川町堀之内416
30	F	黒田 健一	退職	フランス在住 神戸市西区秋葉台3-45-29
30	F	後藤 豊	退職	上山病院 山形県大宮南館529-1 (25-5) A-203
30	F	高橋 親敏	目黒	空自幹部学校
30	F	西本 彰雄	春日	西部航空方面隊司令部防衛部防衛課
30	F	橋爪 猛	入間	第4補給処資計部 資計課
30	F	吉田 憲司	浜松	第2術科学校教務課
31	A	石丸 威司	目黒	会社研修?
31	A	池ノ本 八郎	目黒	陸上自衛隊幹部学校
31	A	大島 龍一郎	退職	松下興産(株)
31	A	亀山 慎二	東千歳	第7師団司令部第3部 訓練班
31	A	久保 敏浩	富士	富士学校機甲科部
31	A	佐野 光	明野	航空学校
31	A	椎野 健治	立川	東部方面隊航空隊
31	A	田口 直志	土浦	武器学校
31	A	辰巳 竜梧	退職	TUVラインランド技研(株) システム認証部
31	A	辻 政幸	目黒	陸上自衛隊幹部学校
31	A	中川 博英	大宮	化学学校教育部
31	A	橋本 哲彰	真駒内	第11師団司令部 第3部 防衛班
31	A	久富 博幸	退職	新日本証券(株) 債権部商品課
31	A	藤岡 登志樹	目黒	陸上自衛隊幹部学校
31	A	松井 健一	富士	装備開発実験隊
31	A	吉武 辰明	目黒	陸上自衛隊幹部学校
31	N	蝦名 伸治	帯広地連	自衛隊帯広地方連絡部
31	N	岡田 岳司	呉	みねぐも砲雷長
31	N	大井 一史	防大	防大総合安全保障研究科学生
31	N	甲斐 義博	京都地連	自衛隊京都地方連絡部
31	N	久保田 修一	横須賀	プログラム業務隊
31	N	迫田 浩文	大湊	ゆうぐも船務長
31	F	阿部 博文	府中	気象群 群本部
31	F	北村 克晶	浜松	第2術科学校 第1教育部
31	F	小南 良人	殉職	
31	F	近藤 良彦	三沢	第3航空団 飛行群 3飛隊
31	F	野沢 寛	立川	航空安全管理隊 資料部
31	F	渋沢 隆一	千歳	第2航空団 飛行群 第203飛行隊
32	A	市来 道啓	退職	秋貞逸郎税理士事務所
32	A	大塚 裕治	沖縄地連	沖縄地方連絡部
32	A	大塚 和也	目黒	陸上自衛隊幹部学校
32	A	小原 真二	退職	エアニッポン
32	A	小田 益男	檜町	統幕5室
32	A	上山 聡	海田市	第46普通科連隊
32	A	川崎 誠二	久留米	陸上自衛隊幹部候補生学校
32	A	境 孝明	目黒	陸上自衛隊幹部学校
32	A	更エ 雅彦	退職	奈良県警察
32	A	神保 俊昭	退職	和歌山県東牟婁郡古座町中湊531
32	A	田口 芳郎	退職	(株)ワールド ジオスポーツ部
32	A	竹内 利治	八尾	中部方面航空隊本部及び本部付隊防衛部航空班
32	A	中村 裕亮	檜町	外務省北米局日米安保課
32	A	平田 雄嗣	目黒	陸上自衛隊幹部学校
32	A	福元 昌二	旭川	第2特科連隊第2大隊
32	A	福重 毅尚	目黒	陸上自衛隊幹部学校
32	A	山地 伸一	檜町	外務省 オーストラリア大使館
32	N	河上 康博	檜町	海上自衛隊東京業務隊
32	N	後藤 幸英	退職	(株)ヒューレットパッカーード インダストリーシステム事業本部
32	N	澤本 武朝	退職	
32	N	松尾 研志	退職	
32	F	植村 茂己	浜松	飛行開発実験団 早期警戒管制機実用試験
32	F	鈴木 秀	十条	航空自衛隊補給本部3部3整課
32	F	高橋 憲雄	目黒	陸上自衛隊幹部学校
32	F	山口 直人	百里	航空救難団 飛行群 百里救難隊
32	F	渡部 誠	岐阜	飛行開発実験団 飛実群 飛行隊
33	A	池田 誠喜	土浦	武器学校
33	A	大津 勝利	目黒	陸上自衛隊幹部学校
33	A	柿野 忠嗣	十条	陸上自衛隊 補給統制本部
33	A	川崎 英幸	退職	
33	A	近藤 哲也	東千歳	第7特科連隊第3特科大隊第5射撃中隊
33	A	郡山 直樹	真駒内	第11特科連隊
33	A	椎葉 博正	退職	芙蓉総ロリス(株) 新宿支店
33	A	谷口 喜一郎	目黒	陸上自衛隊幹部学校

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等
33	A	富樫 勇一	目黒	陸上自衛隊幹部学校
33	A	中塚 修一	東千歳	第7師団司令部第3部
33	A	半澤 新吾	退職	
33	A	久永 智	退職	アメリカンファミリー
33	A	細野 容司	練馬	第1普通科連隊 第4中隊(調査学校#29幹部中国語課程)
33	A	山本 真也	目黒	陸上自衛隊幹部学校
33	A	山本 裕一	勝田	施設学校
33	N	鵜澤 直樹	退職	
33	N	関口 雄輝	江田島	海上自衛隊 第1術科学学校
33	N	高橋 真一	退職	891-0175鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘2-29-4ハイ77A-#101号室
33	N	西窪 純	退職	245-0051神奈川県横浜市戸塚区名瀬町2-4-4 1F 274-67205号
33	N	町島 敏幸	防大	防大学生課補導係
33	N	渡邊 浩	佐世保	さわかぜ
33	F	新崎 秀樹	三沢	警戒航空隊 601飛行隊
33	F	岡本 秀文	千歳	特別航空輸送隊 隊本部 装備班長
33	F	田中 勝也	退職	(株) 兼松
33	F	荒木 俊一	小牧	航空自衛隊第5術科学学校 教務課
33	F	高草木 浩寿	松島	第4航空団飛行群
33	F	増田 友晴	百里	第7航空団第305飛行隊
33	F	御厨 広之	三沢	第6高射群 群本部 防衛班
34	A	石黒 太美	神町	第6飛行隊
34	A	篠原 康一	土浦	武器学校
34	A	田中 一要	富士	装備開発実験隊
34	A	田丸 正勝	富士	富士学校
34	A	筒井 鋭達	北熊本	第8師団司令部
34	A	能井 智治	土浦	武器学校
34	A	水室 正一郎	退職	東陶機器(株) 商品企画本部第2課
34	A	平林 理	真駒内	第11戦車大隊第2中隊
34	A	松永 康則	目黒	陸上自衛隊幹部学校
34	N	竹内 博忠	絵町	技術研究本部
34	N	富山 修	江田島	第1術科学学校
34	N	丹羽 満良	厚木	航空集団司令部
34	F	小笠原 卓人	春日	第2高射群群本部
34	F	河田 成治	退職	埼玉県上福岡市上福岡3-4-12ヒラ山田106
34	F	田代 秀也	当別	第45警戒群基業隊
34	F	羽田 充伸	十条	補給本部1部1補課
35	A	安藤 和幸	霞目	東北方面ヘリ隊第2飛行隊
35	A	戒田 重雄	目黒	幹部学校
35	A	川嶋 和之	北宇都宮	第12飛行隊
35	A	木場 元大	伊丹	第36普通科連隊本部及び本部管理中隊
35	A	坂本 雄一	前川原	幹部候補生学校
35	A	瀬戸口 淳	八戸	第5高射特科群本部及び本部管理中隊
35	A	中村 健太郎	習志野	第1空挺団本部及び本部中隊
35	A	中本 尚明	目黒	幹部学校
35	A	福本 博氏	東千歳	第11普通科連隊第4中隊
35	A	馬淵 貴史	福島	第329施設中隊
35	A	袖之原 公郎	帯広	第1対戦車ヘリコプター隊本部及び本部付隊
35	N	中原 俊行	呉	第4護衛隊
35	N	三浦 則文	舞鶴	第3護衛隊
35	N	森泉 周	館山	第121航空隊
35	N	加藤 寛和	横須賀	プログラム業務隊
35	F	中澤 武志	小牧	航空救難団航空救難隊
35	F	堀 修二郎	百里	第204飛行隊
36	A	井上 勝	霞ヶ浦	第320基地通信中隊
36	A	岩村 伝法	退職	
36	A	榎窪 正和	青野原	第333高射中隊
36	A	大北 知史	駒門	第1戦車大隊本部及び本部管理中隊
36	A	倉田 一	久里浜	通信学校付
36	A	中村 英昭	習志野	第1空挺団普通科群第4中隊
36	A	日高 邦登	北熊本	第8特科連隊第1特科連隊本部及び本部管理中隊
36	A	福島 浩二	市ヶ谷	情報本部
36	A	藤岡 史生	滝川	第10普通科連隊第2中隊
36	A	前田 尚男	富士	第303観測中隊
36	A	村上 至	横浜	中央輸送業務隊移動支援隊
36	A	矢口 鑑	駒門	第1高射特科大隊本部及び本部管理中隊
36	A	山田 武彦	海田市	第350会計隊
36	N	鳥越 要	大湊	大湊地方総監部
36	F	綿森 昭示	防大	防大総合安全保障研究科学生
37	A	大山 剛	東千歳	第301高射中隊

期別	要員	氏名	基地等	所属部隊等
37	A	河合 寿士	目達原	西部方面隊武器隊本部
37	A	児玉 洋	大久保	第4陸曹教育隊普通科教育中隊
37	A	富原 大治	日本原	第13戦車大隊本部及び本部管理中隊
37	A	平瀬 義	防大	防大理工学研究科学生
37	A	古田 和之	旭川	第2師団司令部第4部
37	A	森安 宏徳	市ヶ谷	第32普通科連隊第3中隊
37	A	山下 豊	滝川	第10普通科連隊第1中隊
37	A	吉田 文二	駒門	第1機甲科教育隊第3陸曹教育中隊
37	N	石原 寿英	退職	
37	N	岩本 正行	厚木	厚プロ分遣付情報処理P3C学生
37	N	木下 治信	防大	防大理工学研究科学生
37	N	鈴木 隆弘	呉	ひえい
37	N	高取 哲郎	鹿屋	第1航空隊
37	F	久重路 剛	広島	防衛施設庁
37	F	塚原 敏夫	入間	第4補給処資計部資計課
37	F	中居 景	千歳	第2航空団飛行群203飛行隊
37	F	矢坂 勝良	入間	飛行点検隊飛行隊
38	A	尼子 将之	勝田	施設教導隊第2施設中隊
38	A	奇藤 浩	神町	第20普通科連隊第1中隊
38	A	黒子 智彰	防大	防大理工学研究科学生
38	A	高岡 徳人	伊丹	第36普通科連隊本部及び本部管理中隊
38	A	水野 亮二	霞ヶ浦	霞ヶ浦駐屯地業務隊付
38	A	宮下 克聡	富士	富士学校
38	N	城戸 利彰	鹿屋	第211教育航空隊
38	N	佐藤 滝大	岩国	第8航空隊飛行隊
38	N	高橋 俊隆	鹿屋	第211教育航空隊
38	N	中村 格	佐世保	とね
38	N	平井 穰治	死亡	
38	F	向井 洋史	築城	第8航空団整備補給群修理隊
39	A	井上 嘉史	防大	総合安全保障研究科
39	A	井上 裕策	弘前	第39普通科連隊
39	A	遠藤 英隆	丘珠	第7飛行隊
39	A	小澤 謙雄	岩手	第9特科連隊
39	A	杉原 正典	東千歳	第11普通科連隊
39	A	達下 裕教	新発田	第30普通科連隊
39	A	中村 公多郎	八戸	関東補給処
39	A	長濱 誠	名寄	退職：〒675-2303加西市北条町古坂3-63
39	A	西田 美嗣	旭川	第2後方支援連隊
39	A	野本 肇	北千歳	第1地对艦ミサイル連隊
39	A	三好 英治	立川	東部方面ヘリ隊
39	N	大松 清生	舞鶴	みょうこう
39	N	鳥越 涉	横須賀	うみぎり
39	N	松崎 徹	佐世保	佐世保補充部
39	F	大塚 晋介	高良台	第8高射隊
39	F	久保 敦	入間	第4補給処
39	F	前床 泰彦	三沢	第3航空団 第3飛行隊
40	A	上野 洋介	名寄	第4高射特科群
40	A	朽木 誠	帯広	第4普通科連隊 第1中隊
40	A	高田 善行	古河	第1施設大隊 第3中隊
40	A	奈良 一志	海田市	第13通信大隊 第2中隊
40	A	永友 恒知	秋田	第21普通科連隊 第1中隊
40	A	熊本 厳	俱知安	第29普通科連隊
40	F	岩本 正臣	与座岳	第56警戒群 通電隊
40	F	小坂 淳	浜松	教育集団司令部付
40	F	山田 賢治	入間	中部航空警戒管制団 中防群 防管隊
40	F	守井 孝志	浜松	教育集団司令部付
41	A	阿達 文明	函館	第28普通科連隊 第1中隊
41	A	吉村 裕樹	岩手	第9特科連隊 第2特科大隊 第2射撃中隊
41	A	片上 裕文	明野	第10飛行隊
41	A	島ノ江 英毅	東千歳	第7後方支援連隊 補給隊
41	A	川崎 英輔	富士	特科教導隊 第1射撃中隊
41	A	曾我 辺信久	北熊本	第8高射特科大隊 第2高射中隊
41	A	小林 貴	丘珠	第11飛行隊
41	A	綿貫 俊一	目達原	第4飛行隊
41	A	佐久間 博	神町	第20普通科連隊 第1中隊
41	A	中江 宏彰	勝田	施設教導隊 第3施設中隊
41	A	建部 広喜	滝ヶ原	第110施設大隊 第2中隊
41	A	石井 伸幸	高田	第2普通科連隊 第2中隊
41	A	小段 雄三	遠軽	第25普通科連隊 第1中隊

期別	要員	氏名	基地等	所 属 部 隊 等
41	A	後藤 仁志	守山	第35普通科連隊 第1中隊
41	N	大川 洋史	退職	〒520-3232 滋賀県甲賀郡甲西町平松519-6
41	F	三宅 英明	浜松	教育集団司令部付
41	F	和崎 拓己	三沢	北部航空警戒管制団 北防群 警通隊
41	F	松下 尚之	海栗島	第19警戒群
41	F	イ・グバンテス	留学生	マレーシア
42	A	古賀 信之	千僧	第3後方支援連隊 武器大隊
42		清水 辺大		退職：岩手
42	A	永島 透	日本原	第13特科連隊
42	A	井田 輝彦	久留米	第4特科連隊
42	A	葛西 成彦	青森	第5普通科連隊
42	A	足立 泰範	松本	第13普通科連隊
42	A	清水 優	真駒内	第11後方支援連隊
42	N	尾崎 公彦	江田島	海幹校
42	N	土本 邦彦	江田島	海幹校

合掌

新春の候、OBの皆様におかれましては益々ご清栄とお慶び申し上げます。私ども防衛大学校少林寺拳法部員も、連日の寒気に負けることなく日々研鑽を重ねております。

さてこの度、防大少林寺拳法部誌も第25号を発刊するに至り、一つの節目を迎えることが出来ました。これも皆様方のご支援によるものでございます。しかしながらOB名簿を見てもわかりますように、近年部員数の減少が著しく、ここ数年毎年の政権が頭を悩ませておるところでございます。しかしながら44期6人、45期4人に対し46期は8人とわずかながら増加の兆しを見せ始めておりますのが多少の希望ではありますが、この部員増加の流れをさらに大きく、さらに続けていくために44期政権一同全力で対処する所存でおります。

本年の干支の兎の如く、今年を防大少林寺拳法部の大きな飛躍の年とするためにも部員の増加は必須の条件であると考えております。47期生の大幅確保に努め、成果を残すつもりでおります。OBの皆様におかれましては、何かと御多忙中とは存じますが、今後とも御指導御鞭撻の程なにとぞよろしくお願い致します。

最後に、本部誌発行にあたって、御指導いただきました部長、監督、顧問の方々はじめ、投稿してくれた各学生に感謝し、編集後期と致します。

結手

平成10年度OB係

西尾 実

